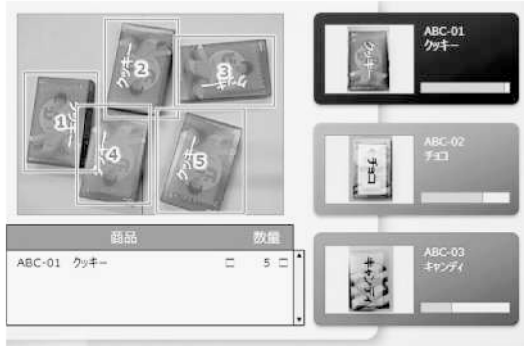


TDS AIで在庫・配送管理

外食・運送
など向け 2システム、来春投入

東レエンジニアリングDソリューションズ（TDS、東京都中央区、中野亮社長）は人工知能（AI）技術を活用し、商品の在庫管理や配送を効率化する2システムを2022年3月に投入する。画像認識やデータ処理の技術を生かし、ピッキングや配送計画で困る外食産業や運送業など企業の課題解決につなげる。1システムの消費税抜きの価格は約1000万円から。既存のAIシステムと合わせて、25年に3システムで合計5億円程度の売り上げを目指す。

TDSは「AIデジタリタピッキング」とキングは、TDSの親「配送計画最適化システム」の2システムをリングが出資する画像投入する。外食産業向 認識AIを得意とする



エルピクセル（東京都千代田区）の技術を活用。対象となる商品を画像として認識・管理

ピッキング作業でAIを活用した画像認識のイメージ

製造業や小売店の搬送業務向けの配送計画最適化システムは、配送間の距離や走行距離など社員個人の経験から策定していた配送計画をAIが行う。納品日や数量、配送時間などから最適な台数、配送ルート、積載重量を換算して計画を策定。

従来2時間程度かかっていた計画作成業務を5分程度に短縮できるという。

TDSは商品の需要を予測する「需給予測システム」も販売している。曜日ごとや取引先固有の動向などを商